

▶ 職業紹介業 高齢者雇用推進ガイドライン

活躍するシニア 5つのタイプ

～シニア人材が企業を強くする～

一般社団法人日本人材紹介事業協会
職業紹介業高齢者雇用推進委員会



>>目次

- I 活躍するシニア人材像
- II 活躍するシニア 5つのタイプ
- III シニア人材の雇用を取り巻く社会的背景と業界の実態
- IV 参考情報(公的助成金及び問合せ先)

職業紹介業は、様々な業界の求人企業に対して、幅広い職種や年齢層の人材を紹介するサービスを提供しています。1999年の職業安定法改正により急速に業界規模が拡大するなかで、各社が自社の人材確保のために中途採用を積極的に行った結果、シニア年齢層の社員が多く活躍するようになっています。本書では、活躍するシニアを5つのタイプに分けて特徴をまとめるとともに、シニア人材の活躍の場の拡大のために取り組むべき課題と、基本的な考え方を提示しています。

活躍するシニア人材像

若い業界のなかで、活躍しているシニア人材がいる企業はすでに4割！

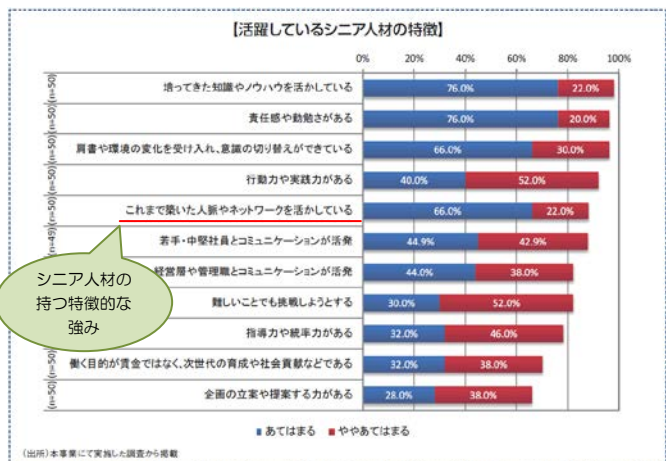
【60歳以上の従業員の有無と、活躍しているシニア人材の有無】
(n=110)



※本調査では、活躍しているシニア人材を「Aさん」としました

(出所)本事業にて実施した調査から掲載

活躍しているシニア人材がいる企業が享受しているメリット

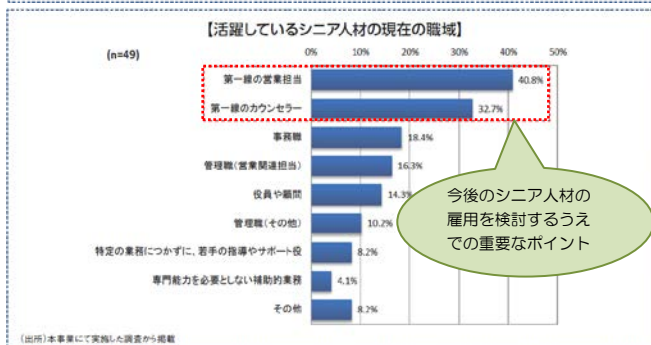
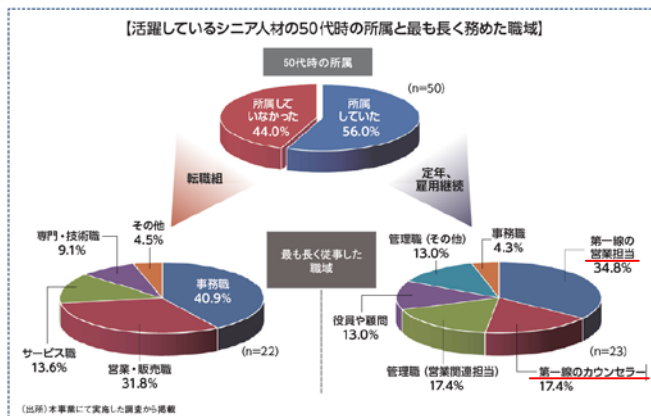


シニア人材の持つ特徴的な強み

実際に活躍しているシニア人材がいる企業を感じている懸念や具体的などのように乗り換えているのかについても、後述する活躍事例で紹介しています。

職業紹介業では、他業界からの転職組も活躍できます！

現在活躍しているシニア人材の50代時の所属をみると、4割が転職組であることがわかります。本業界は、50歳を超えて転職してきた方たちも活躍できる可能性があります。



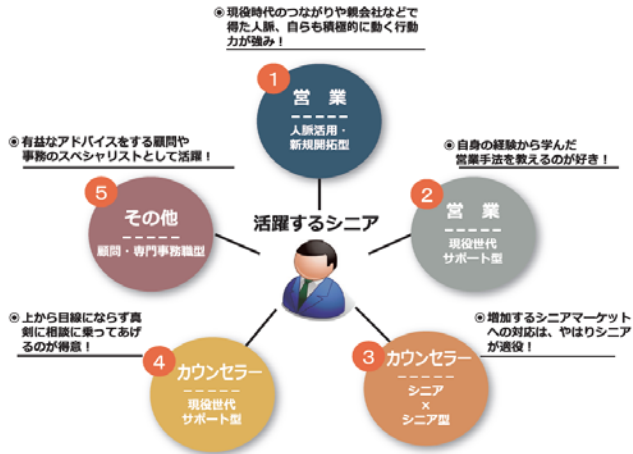
今後のシニア人材の雇用を検討するうえでの重要なポイント

(出所)本事業にて実施した調査から掲載

活躍するシニア 5つのタイプ

職業紹介業で活躍しているシニア人材は、5つのタイプに分類できます

各タイプの強み、活躍の秘訣、企業のメリット、事例紹介～活躍しているシニア人材の過去、現在、これから～という項目立てで具体的な活躍の内容を紹介しています。



タイプ1：営業－人脈活用・新規開拓型

■企業の人事担当者と面識を有しており、新たに顧客先を開拓するときや、先方が求めている就職情報を把握するときに強みを発揮します。

■こうした方々の多くは、前職まで、メーカーや金融業界等で長い期間勤め上げ、そこで築いた人脈や、営業手法などを最大限活用されています。



タイプ2：営業－現役世代サポート型

■営業場面において、自らが有するネットワークの後輩への引き継ぎ、営業スキルの教育など、職業紹介業における営業職にかかわる育成面で会社に多大な貢献を果たしています。

■職業紹介業界が比較的若い業界であることから、適切なアドバイスをできる人材は限られており、そうした能力を有する人材へのニーズは高いといえます。



タイプ3：カウンセラー－シニア×シニア型

■中高年齢者の再就職支援の場面においては、同年代かそれ以上のカウンセラーの方が、それまでの社会経験を生かした効果的なカウンセリングを行うことができます。

■利用者も高齢化するなかで、安心感をもってカウンセリングを受けていただくために、相応の経験を積んだシニアのカウンセラーのニーズが高まっています。



タイプ4：カウンセラー－現役世代サポート型

■利用者に対して親身に寄り添えるカウンセリングのスキルを有し、求職者の人柄やニーズを把握する観察力が秀でています。

■加えて、若手や中堅従業員への目配りもしており、同僚のカウンセラー(コンサルタント)から信頼を集めています。



タイプ5：その他－顧問・専門事務職型

■【顧問】常勤ではなく、顧問として過去の経験や人脈等を生かした的確なアドバイスや支援を行うことで活躍しています。セミナーの講師などでも活躍し、企業にとってなくてはならない存在です。

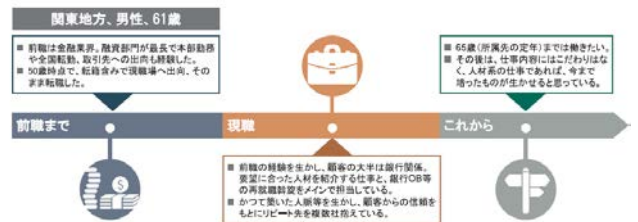
■【専門事務職】企業の間接業務に関して多くのことを熟知しており、経理や総務の知識・経験を生かした業務の遂行と、後進の従業員の育成面で活躍しています。



掲載事例(タイプ1)

事例紹介～活躍しているシニア人材の過去、現在、これから～

ヒアリング調査にご協力いただいた、活躍するシニア人材をご紹介します。



シニア人材が活躍するために企業がすること

現在、活躍しているシニア人材がいる企業が、実践している工夫や配慮・制度・支援の具体例を紹介しています。

1 活用面で工夫している点や配慮

- 1-1. 職場環境への配慮
- 1-2. 定期的な面談の実施
- 1-3. 柔軟な勤務形態への対応
- 1-4. 担当や役割を持たせる
- 1-5. 自由度・自主性を尊重する
- 1-6. 知識やスキルを把握する

2 会社の制度

- 2-1. 継続雇用制度
- 2-2. 福利厚生
- 2-3. 評価制度
- 2-4. 勤務体制
- 2-5. 外部ネットワークの構築

3 その他、会社からの支援

- 3-1. 資格取得に関する支援
- 3-2. シニア特有の悩みに関する支援